

# 西脇市高校生アンケート調査 報告書

令和5年12月1日

西脇市政策推進課

# = 目 次 =

## 調査概要

---

1	調査目的	2
2	調査対象	2
3	調査期間及び調査方法	2
4	調査項目	3
5	配布数・回収数・回収率	3
6	その他	3

## 調査結果

---

1	回答者の属性（性別・年代・居住地区）	5
2	将来の定住意向	6
3	高校生が期待するまちづくり	8
4	自分ができるまちづくり	9
5	進学	10
6	就職	12
7	結婚に対する考え	17
8	子ども・子育てに対する考え	18
9	西脇市の印象	20

# 調査概要

## 1 調査目的

---

第2次西脇市総合計画・後期基本計画の策定に当たり、将来のまちづくりの担い手として期待される高校生を対象に、進学・就職などの将来意向や、今後のまちづくりに関する思い等を把握するためにアンケート調査を実施しました。

## 2 調査対象

---

調査対象者は、次のいずれかに該当する2年生の生徒	約570名
① 西脇市内の高等学校に通学する2年生の生徒	約480人
② 西脇市内から10名以上の通学者がある高等学校に通学する2年生の生徒（西脇市在住者のみ）	約90人

## 3 調査期間及び調査方法

---

### (1) 調査期間

令和5年10月20日（金）～令和5年11月23日（木）

※10月に各学校に案内を持参し、各高校の任意の日にアンケート調査票を配布いただき、当該配布日から概ね2週間を調査期間としました。

※ウェブによる回答は、令和5年12月1日（金）午前9時に回答を締め切りました。

### (2) 調査方法

各高校に協力いただき、アンケート調査依頼文書を調査対象の生徒に配布しました。

アンケート調査の回答は、原則としてウェブによるものとし、ウェブ回答が困難な生徒に対しては、アンケート調査用紙を配布し、紙による回答としました。

## 4 調査項目

(1)	回答者の属性（性別、学校名など）	4項目	} 関係課に提供して 計画策定に活用
(2)	西脇市への定住意向について	3項目	
(3)	高校生にとって重要な政策・取組について	2項目	
(4)	将来の意向（進学・就労・結婚・子育て）について	12項目	
(5)	居場所・相談相手の有無について	5項目	
(6)	自己肯定感・自己評価について	4項目	
(7)	西脇市の印象について	4項目	
(8)	自由意見	1項目	

## 5 配布数・回収数・回収率

- (1) 配布数：567件
- (2) 回収数：274件（うち郵送1件、ウェブ273件）
- (3) 回収率：48.3%

## 6 その他

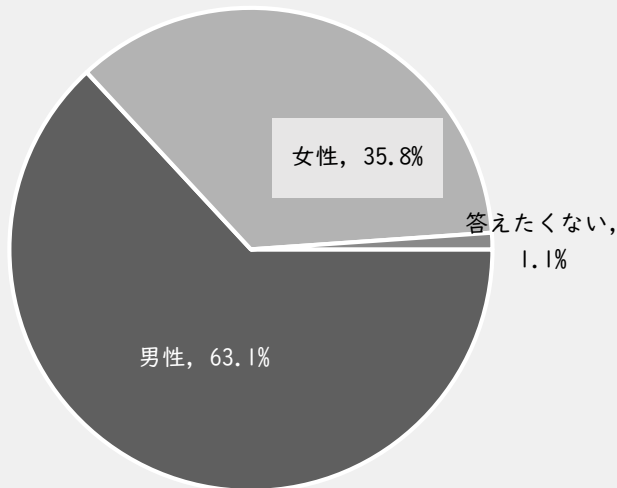
- (1) 図表の中のNは、回答者の総数。nは、性別、居住地別の回答者数及び該当質問の各項目の回答数を表しています。
- (2) 比率は、Nまたはnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しました。そのために、百分比の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答が可能な質問では、その比率の合計が100.0%を上回ることがあります。
- (4) 図表作成の都合上、選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合があります。

# 調查結果

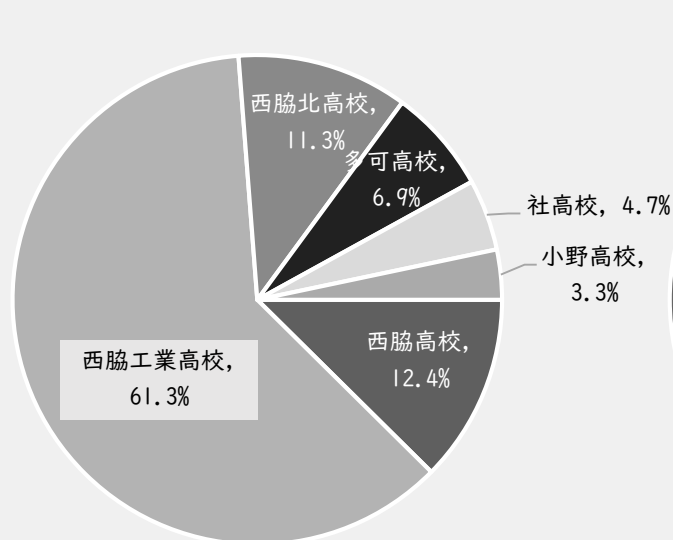
## I 回答者の属性（性別・年代・居住地区）

- 【性別】 学校別にみると、全体的に女性の方が回答数が多くなっていますが、特に回答率が高かった西脇工業高校では女性比率が十数パーセントとなっていることから、全体としては男性の回答割合が63%と高くなりました。
- 【高校】 調査対象者数は、西脇高校で約240名、西脇工業高校で190名、西脇北高校・社高校で約50名、多可高校・小野高校で約20名となっており、母数が大きく回答率も高かった西脇工業高校の割合が特に大きくなっています。
- 【居住地区】 市内3校の西脇市在住者の割合は、西脇高校で約40%、西脇工業高校で約48%、西脇北高校で約35%で、おおむね実際の割合と同程度となっています。市外3校は、西脇市在住者に限って調査していますので、全体としては約半数が西脇市在住となっています。

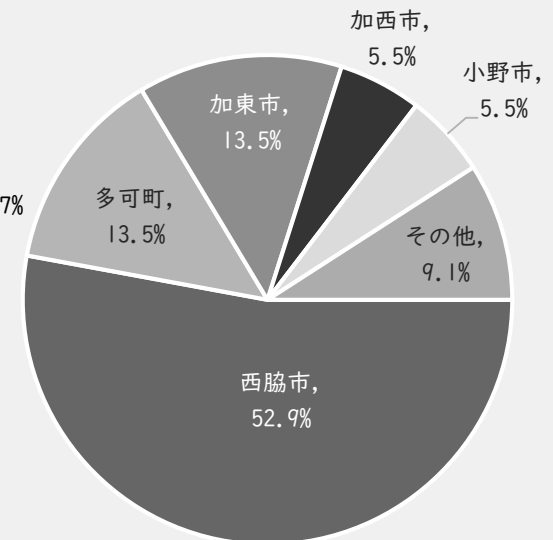
性別 (N=274)



高校 (N=274)



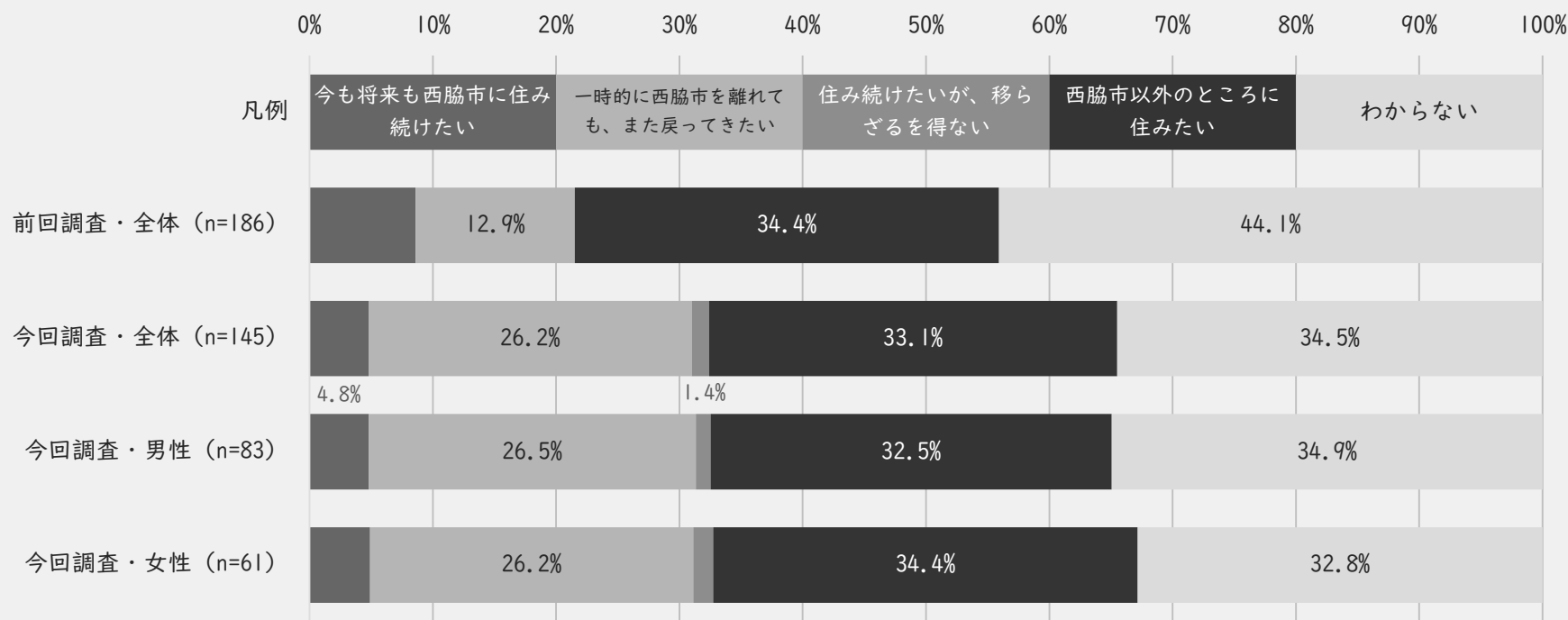
居住地 (N=274)



## 2 将来の定住意向（西脇市在住高校生）

- 前回調査と比較すると、「西脇市に住み続けたい」の割合は減少しましたが、「また戻ってきたい」の割合は大きく増加しました。一方で、「市外に住みたい」の割合は大きな変化はありませんでした。
- 「わからない」と回答する割合は約3分の1を占めており、「市外に住みたい」と同程度となっています。
- 性別による差異はほとんどありませんが、「市外に住みたい」の割合は女性の方が2ポイント程度高くなっています。
- 学校別に定住意向（「住み続けたい」「また戻ってきたい」の合計）をみると、西脇北高校で高く（約45%）、多可高校と小野高校で低く（約22%）なっています。

将来の定住意向（市内在住）



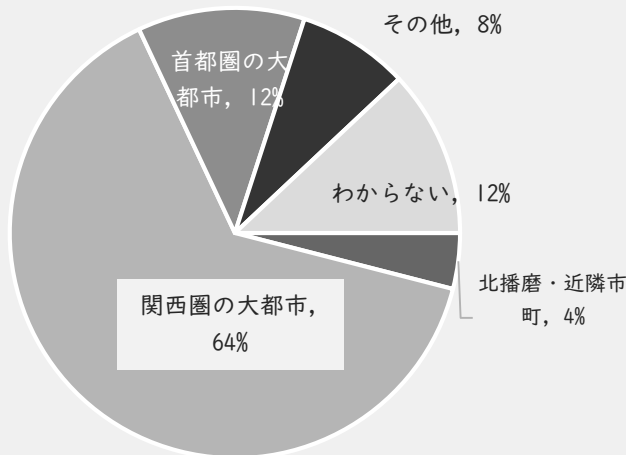
※前回調査...H29.7に実施した高校生アンケート調査。紙面で実施し、各校で配布・回収に協力いただいたため、比較的回答率が高い。調査の質問文・選択肢は今回調査と同じ。



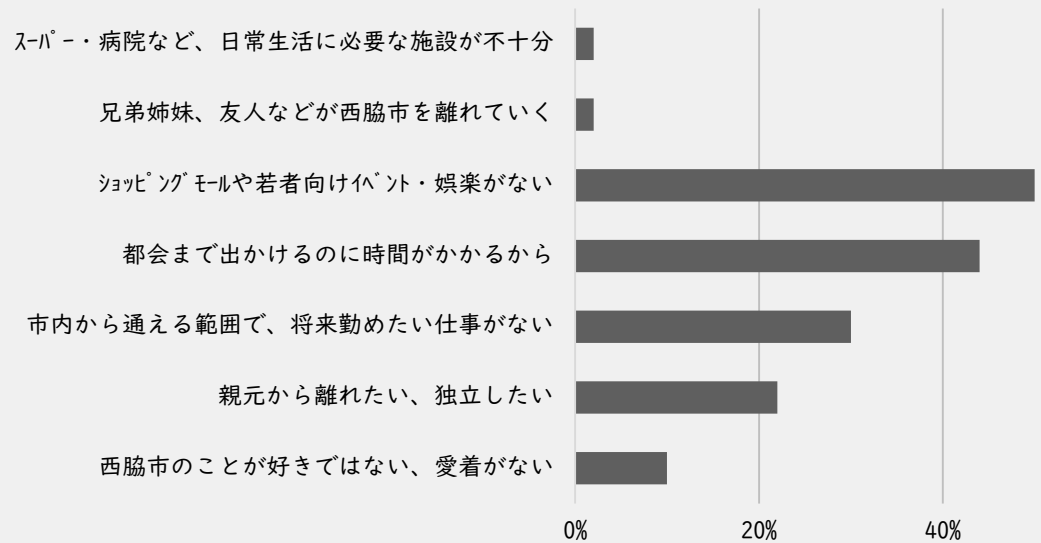
## 2 将来の定住意向（西脇市在住高校生・転出意向）

- 西脇市在住高校生のうち転出意向※を示した方に、住みたい場所を聞いたところ、「大阪府や神戸市・京都市などの関西圏の大都市」の割合は64%と約3分の2となり、「東京都や横浜市などの首都圏の大都市」は12%となりました。
- 転出意向の理由（2つまで選択）を聞いたところ、「ショッピングモールや若者向けイベント・娯楽がない（50%）」「都会まで出かけるのに時間がかかる（44%）」のほか、「市内から通える範囲で、将来努めたい仕事がない（30%）」の割合が特に高くなっており、「市内及び近隣自治体における都市的機能の不足」や「都市部へのアクセス性」が転出意向の要因となっています。

住みたい場所（n=50）



転出の理由（n=50）

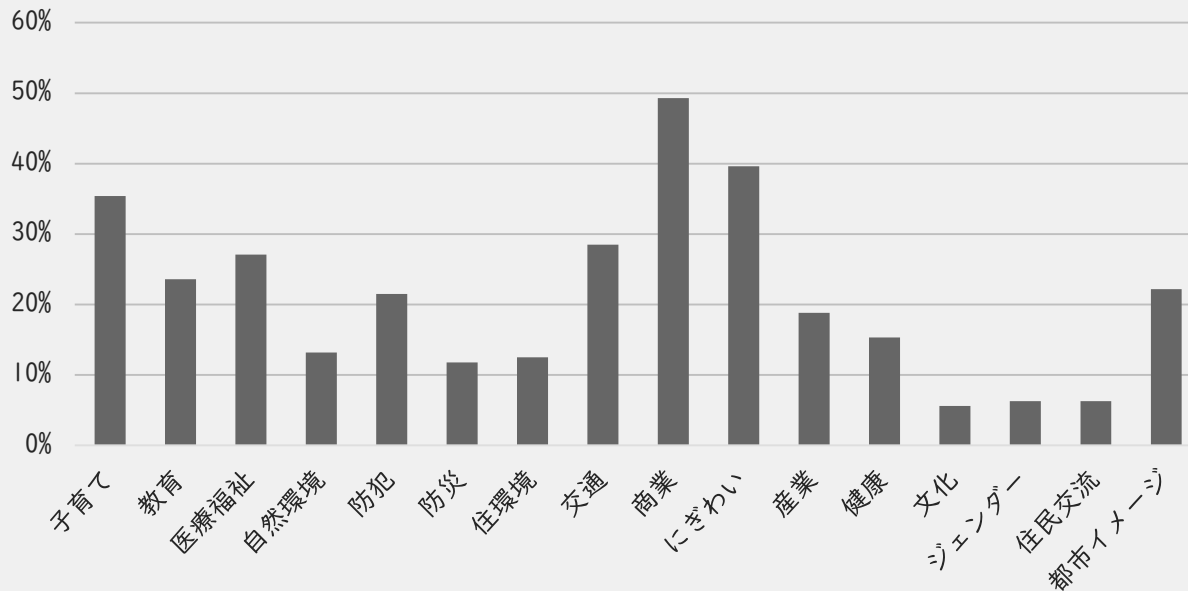


※転出意向...「西脇市に住み続けたいが、事情があり移らざるを得ない」「西脇市以外のところに住みたい」の回答割合の合計

### 3 高校生が期待するまちづくり（西脇市在住高校生）

- これからも西脇市で住み続けていく（将来西脇市に戻ってくる）とした場合に、「西脇市として特に力を入れるべき」と考える取組（最大5つ）を聞いたところ、「商業」が最も高く49%、次いで「にぎわい」が40%となっており、都市的な機能の強化への期待が高くなっています。
- 一方、都市部へのアクセス性と関係する「交通」（29%）よりも「子育て」（35%）の方が高くなっており、また、「医療福祉」も27%と比較的高くなっており、福祉的な施策への期待も比較的高くなっています。
- 「自然環境」や「防災」「住環境」などは10%程度となっており、比較的満足している方が多いと推察されます。

力を入れるべき取組（n=144）



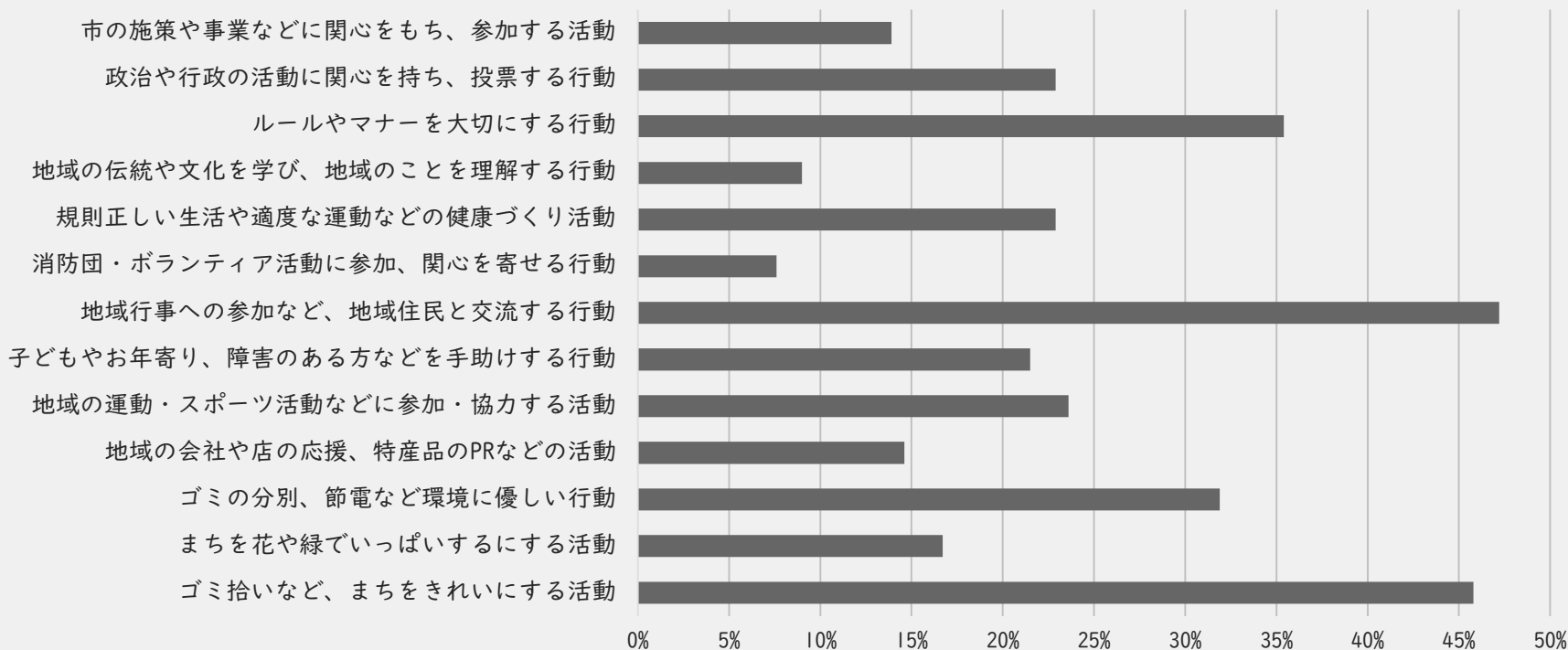
<選択肢>

1. 子育て…妊娠・出産や子育ての環境の充実
2. 教育…教育環境の充実
3. 医療福祉…医療・福祉の施設やサービスの充実
4. 自然環境…自然環境の保全、環境負荷の低減
5. 防犯…防犯など、治安の維持・向上
6. 防災…水害・地震対策の推進、防災活動の活性化
7. 住環境…住宅地などの住まいの環境の向上
8. 交通…道路・公共交通の利便性の向上
9. 商業…買い物などの利便性の向上
10. にぎわい…娯楽施設の充実やイベントなどの活性化
11. 産業…働く場所の充実、産業の振興、企業の誘致
12. 健康…健康づくりやスポーツ活動の活性化
13. 文化…文化・芸術活動の活性化、歴史・伝統の継承
14. ジェンダー…性別にかかわらずに誰もが活躍できる環境づくり
15. 住民交流…地域のコミュニティづくりや住民同士の交流の充実
16. 都市イメージ…まちのイメージアップ、知名度向上

## 4 自分ができまちづくり（西脇市在住高校生）

- 暮らしやすい「西脇市」をつくっていくために、自身ができる活動や行動を聞いたところ（いくつでも選択）、「地域住民と交流する行動」が48%と最も高くなっており、次いで「まちをきれいにする活動」（46%）、「ルールやマナーを大切にす行動」（36%）が高くなっています。
- 前回調査（H29.7）でも類似の質問を行いました。が、「政治や行政の活動に関心を持ち、投票する行動」は5.6%から22.9%に、「市の施策や事業などに関心を持ち、参加する活動」は6.7%から13.9%に大きく増加しており、平成28年度の「選挙権年齢の引下げ」や令和4年度から導入された「総合的な探究の時間」などが要因と考えられます。

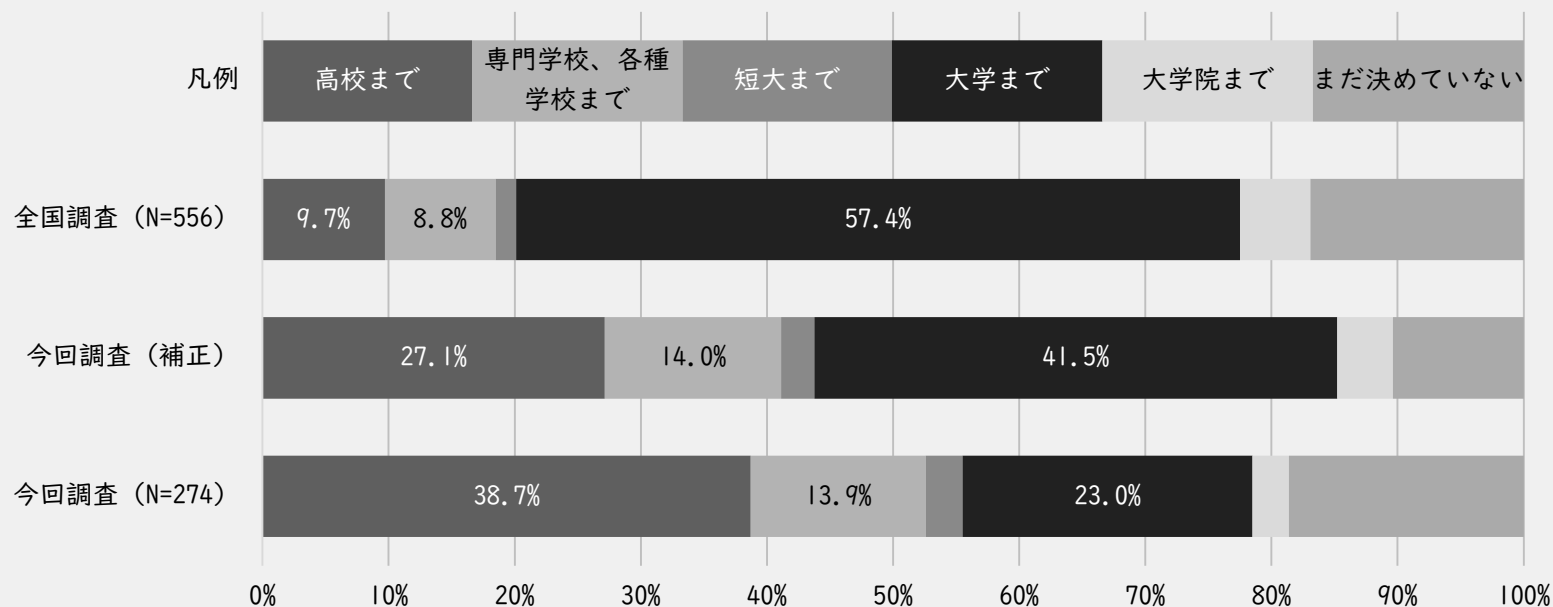
暮らしやすいまちに向けて自分ができること（n=144）



## 5 進学（進学の最終目標）

- 進学の最終目標を聞いたところ、「高校まで」の割合が39%と最も高くなりました。なお、高校卒業後に就職する割合が高い西脇工業高校の回答数が他校と比べて多かったため、補正した数値でも比較しています。
- 補正值では、「高校まで」が27%、「専門学校、各種学校まで」が14%、「短大まで」が3%、「大学まで」が42%、「大学院まで」で3%となり、「まだ決めていない」は19%でした。
- 令和4年度学校基本調査（兵庫県）では、高等学校卒業者に占める「就職者」の割合は11.5%、「専修学校（専門課程）への進学率」の割合は12.9%、「大学等（短大含む）への進学率」は66.0%だったことを踏まえると、「高校まで」の割合が高く、「大学・大学院まで」の割合が低い値が出ていると推察されます。

進学の最終目標



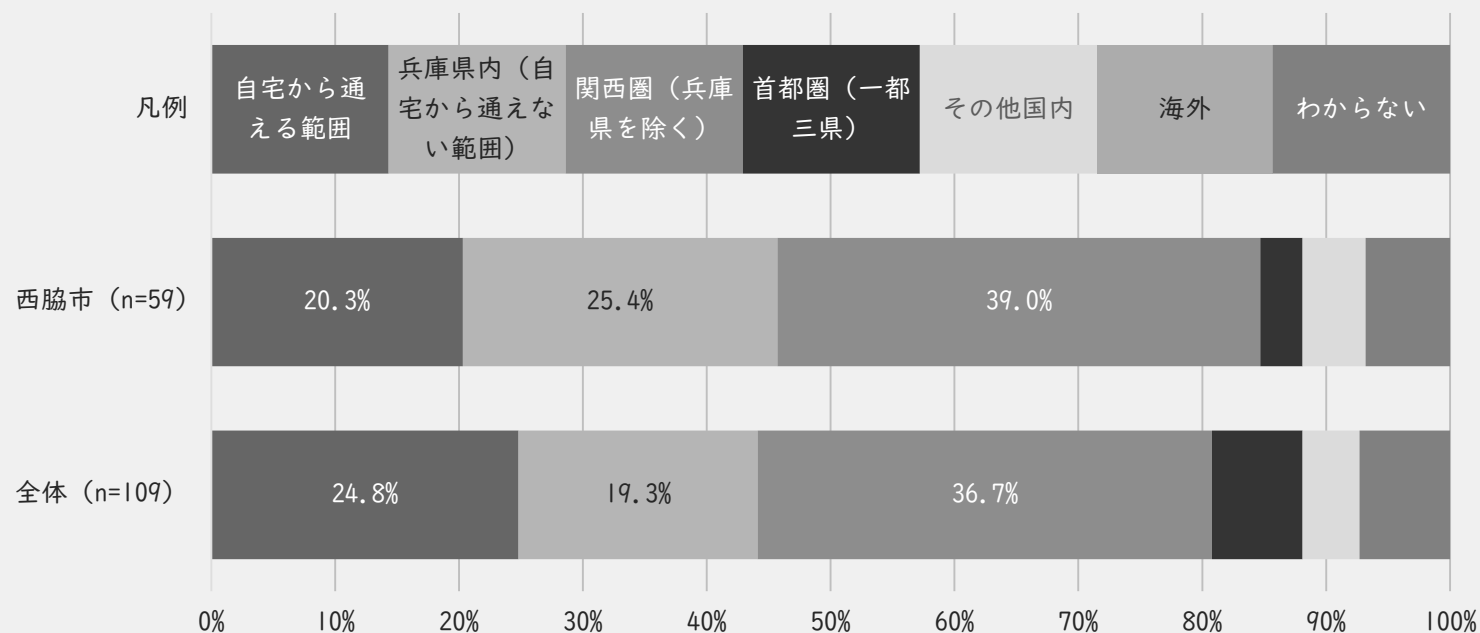
※補正について...大学等に進学する実績が多い西脇学校と就職等の実績が多い西脇工業高校の間で大きく回答率に差があったことを踏まえて、市内3校（市外3校は除外）の回答率が50%になるものとして補正した。

※全国調査について...NHKが2022年7月～8月に実施した「中学生・高校生の生活と意識調査2022」のうち、高校生の回答を引用した

## 5 進学（進学希望先の地域・専門学校等、短大、大学進学希望者）

- 進学の最終目標として「専門学校、各種学校まで」「短大まで」「大学まで」と回答した方に、進学希望先の地域・場所を聞いたところ、西脇市在住者では、39%が「関西圏（県外）」と回答し、次いで25.4%が「県内（自宅から通えない範囲）」と回答しています。
- 市外在住者を含めた全体と比較すると、「自宅から通える範囲」の回答割合が4.5ポイント少なくなっており、都市部へのアクセス性の課題が要因と考えられます。また「首都圏」の回答割合も3.9ポイント少なくなっており、やや関西志向が強いといえます。
- 進学の最終目標別に比較すると、「専門学校、各種学校まで」「短大まで」は、「大学まで」に比べて、県内志向が強くなっています。

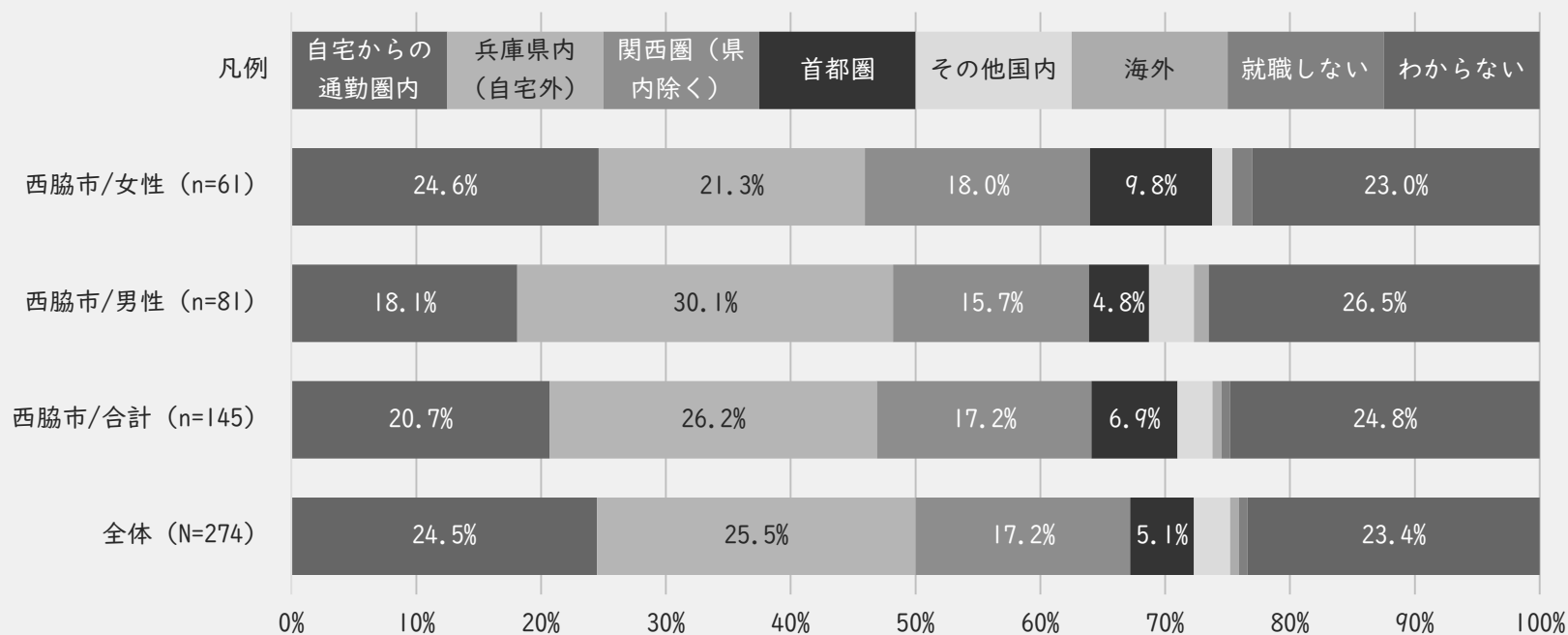
進学希望先の地域



## 6 就職（卒業後の就職先の地域・場所／男女別）

- 高校、大学等の卒業後、どのような地域・場所で就職・起業したいかを聞いたところ、「自宅からの通勤圏内」が約2割、「兵庫県内（自宅から通えない範囲）」を含めると半数弱が兵庫県内での就職を希望しています。
- 大阪府等の関西圏は約17%、首都圏は約7%となっており、4人に1人は大都市部での就職を希望しています。また、同程度が「わからない」と回答しています。
- 調査対象者全体の回答と比較すると、西脇市の方が「自宅からの通勤圏内」の割合がやや低くなっており、都市部へのアクセス性の課題が要因と考えられます。また、「首都圏」の割合がやや多くなっています。
- 西脇市在住高校生について、男女別でみると、女性の方が「自宅からの通勤圏内」と回答する割合が高くなっていますが、一方で「関西圏」「首都圏」も高くなっており、地元志向と大都市志向の両面が見て取れます。

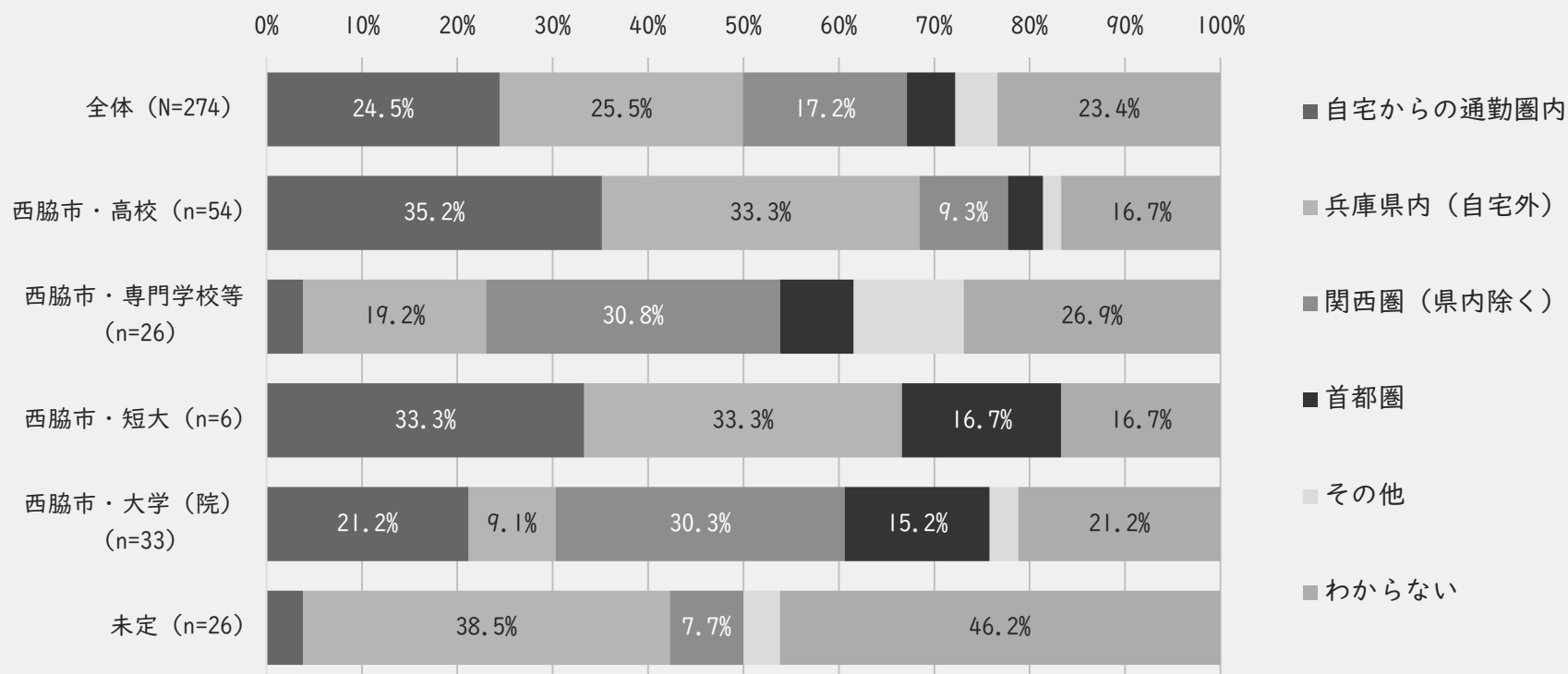
卒業後の就職先の地域・場所



## 6 就職（卒業後の就職先の地域・場所／進学最終目標別）

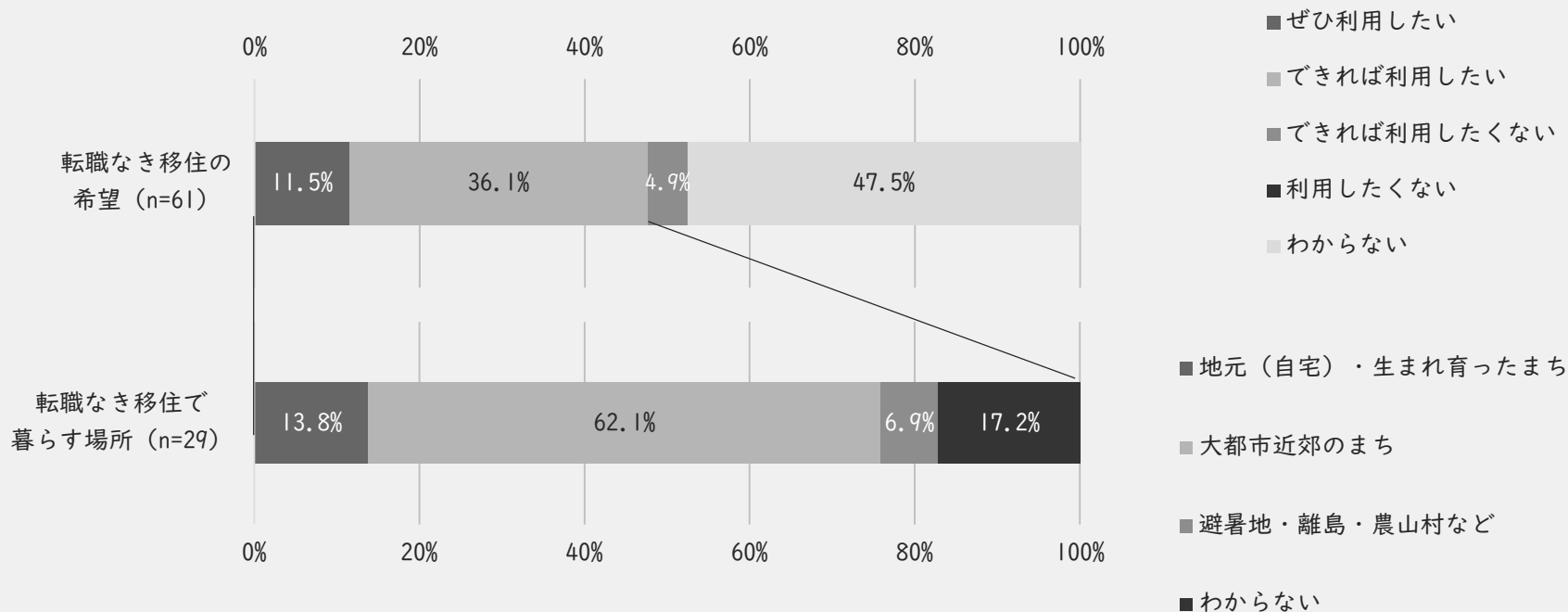
- 進学最終目標として「高校まで」「短大まで」と回答した方は、約3分の2が「兵庫県内」と回答しています。
- 「専門学校、各種学校まで」と回答した方では、約3割が「関西圏」と回答しています。希望する仕事として「理容・美容・ファッション関係」と回答する割合が高いことも影響していると考えられます。
- 「大学・大学院まで」と回答した方は、「兵庫県内」の割合が3割程度とやや少なくなっています。「関西圏」は30%、首都圏が15%となっており、大都市部への就労を希望する傾向にあります。

進学最終目標別・卒業後の就職先の地域・場所



## 6 就職（転職なき移住の希望）

- 「首都圏」「関西圏」での就労を希望する方に、「転職なき移住※」の希望を聞いたところ、半数弱の方が関心を示しました。一方で、半数弱は「わからない」と回答しています。
- 「転職なき移住」を希望された方に対して「暮らす場所」を聞いたところ、「地元（自宅）・生まれ育ったまち」は14%にとどまっており、6割以上が「大都市近郊」と回答しています。大都市部への人口流出が課題となっていますが、仕事の有無だけでなく、都市的な機能・生活空間を求めていることが背景にあると考えられます。



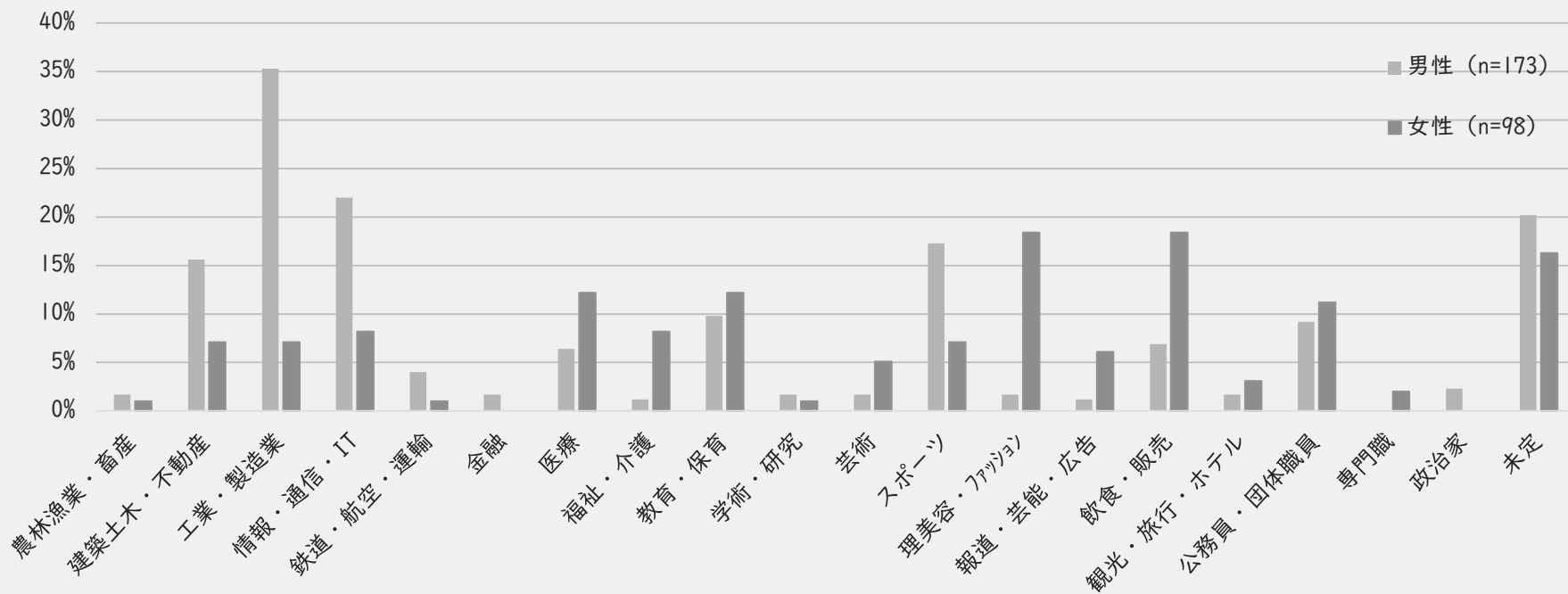
※転職なき移住...東京圏に立地する企業などに勤めたまま、地方に移住して地方で仕事をする。コロナ禍で地方での暮らしに対して関心が高まりつつある中、地方での就労という不安を軽減することがねらい。



## 6 就職（希望する将来の仕事／男女別）

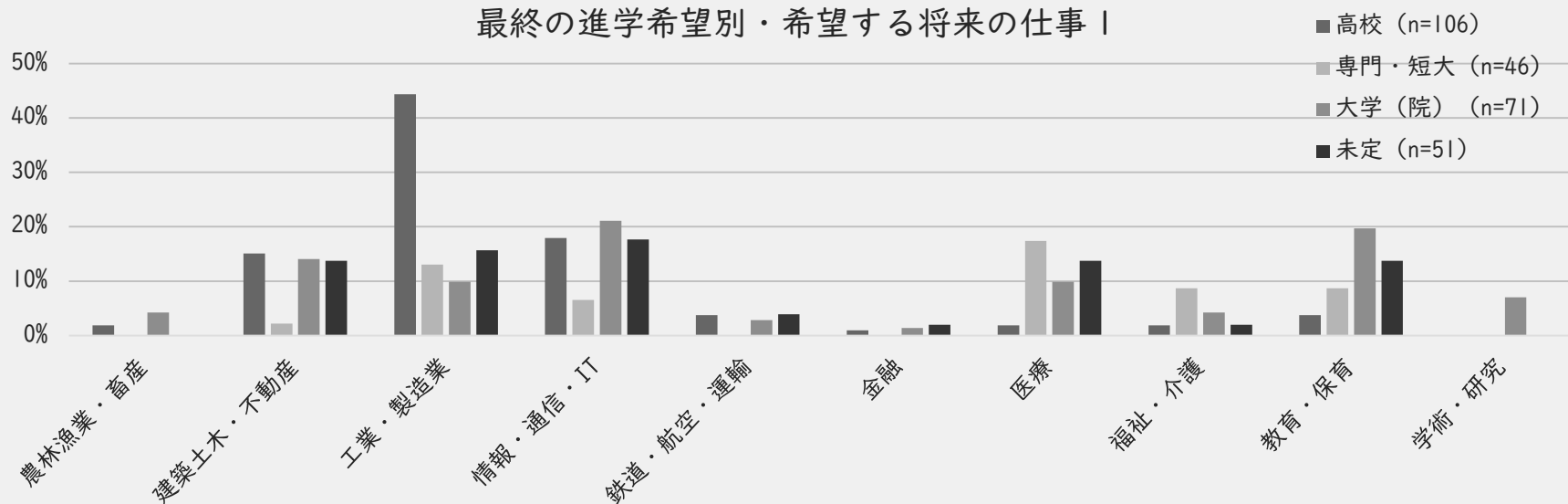
- 将来どんな仕事をしたいか（3つまで選択）をきいたところ、男性では「工業・製造業」「情報・通信・IT」「スポーツ」「建築土木・不動産」が多くなっています。特に「工業・製造業」が多いのは、西脇工業高校からの回答数が多かったことが理由と考えられます。
- 女性では「理美容・ファッション」「飲食・販売」「医療」「福祉・介護」が多くなっており、サービス業が多くなっています。「公務員・団体職員」「教育・保育」などは、男女ともに一定の希望があります。
- 「大学・大学院」への進学を希望している方では、「情報・通信・IT」「公務員・団体職員」（21%）が最も高く、次いで「教育・保育」「スポーツ」（20%）、「建築土木・不動産」（14%）、「工業・製造業」「医療」（10%）などが高くなっています。（次頁参照）

男女別・希望する将来の仕事

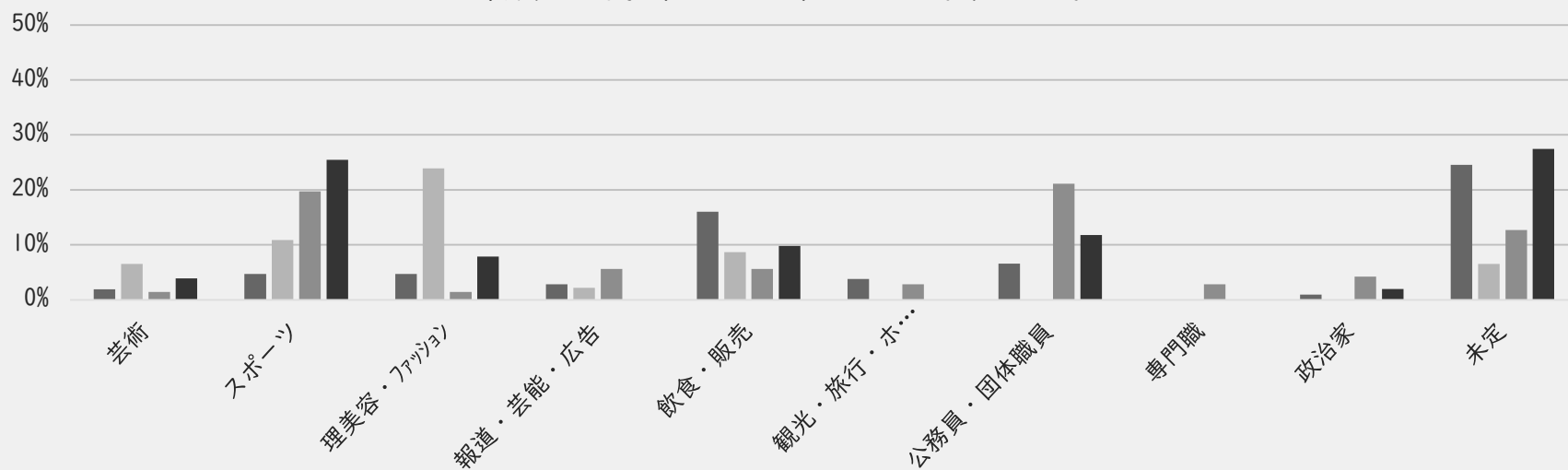


## 6 就職（希望する将来の仕事／最終の進学希望別）

### 最終の進学希望別・希望する将来の仕事 1



### 最終の進学希望別・希望する将来の仕事 2



## 7 結婚に対する考え（男女別）

- 「結婚」についての考え方を聞いたところ、「肯定的な回答割合※」は、男性で68.8%、女性で65.3%と女性の方が低くなりました。全国調査※では、それぞれ70.3%、66.3%となっており、それよりやや低くなっています。
- 結婚に対して肯定的に回答した方に、理想の結婚年齢を聞いたところ、24.7歳となりました（男女の差異はほぼなし）。
- 令和3年6月実施の第16回出生動向基本調査では、男性81.4%（第15回：85.7%）、女性84.3%（第15回：89.3%）が「いずれ結婚するつもり」と回答（18～34歳の未婚者）しており、平均初婚年齢は男性で31.7歳、女性で29.1歳でした。
- 国の調査結果を踏まえると、結婚を「まだ現実的なものと捉えられていない」様子とともに、結婚意向そのものが低下している可能性もうかがえます。

将来結婚することについて



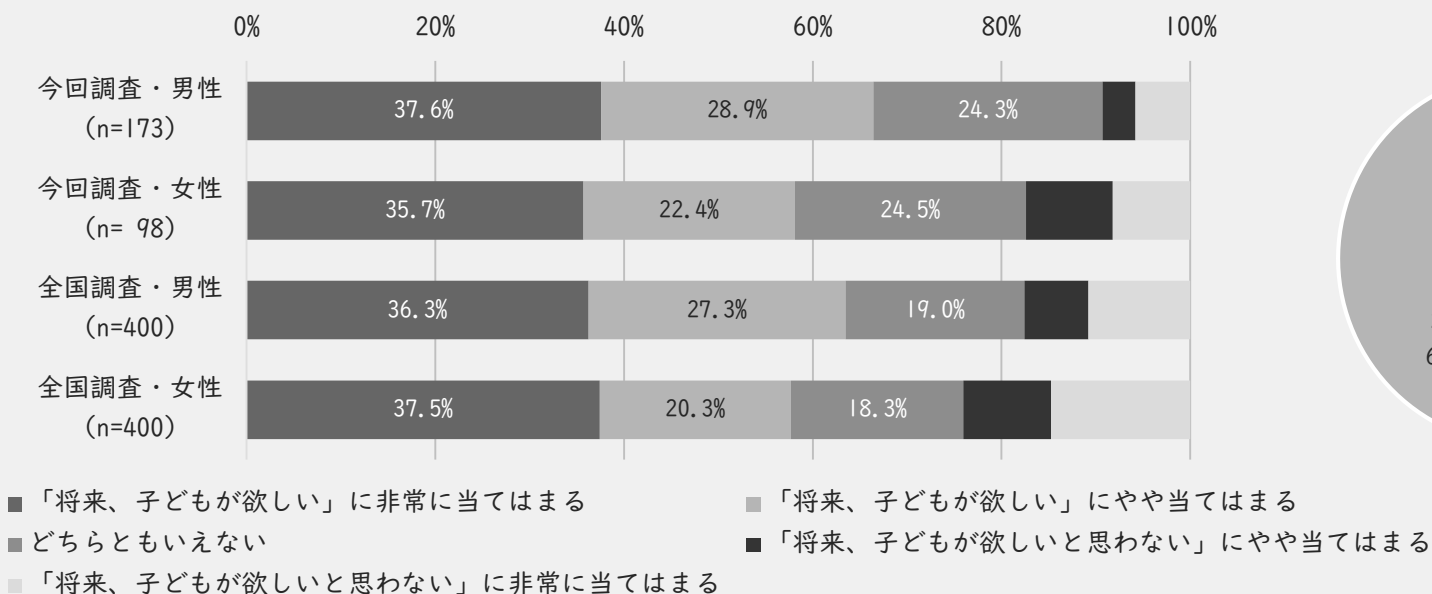
※肯定的な回答...「将来、結婚したい」に「非常に当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合の合計

※全国調査...ソニー生命保険株式会社が2023年6月に実施した「中高生が思い描く将来についての意識調査2023」のうち、高校生の回答を引用した

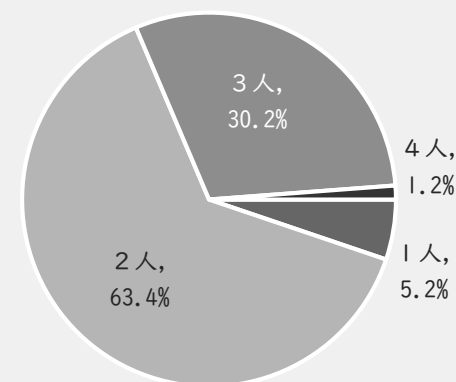
## 8 子ども・子育てに対する考え

- 「子どもを持つこと」についての考え方を聞いたところ、「肯定的な回答割合※」は、男性で66.5%、女性で58.1%と女性の方が低くなりました。全国調査※では、それぞれ63.6%、57.8%となっており、それよりやや低くなっています。
- 「子どもを持つこと」に対して肯定的に回答した方に「希望の子どもの人数」を聞いたところ、2人が63.4%、3人が30.2%で、平均すると2.27人となりました。また、男女で差異はほとんどありませんでした。
- 子どもを持つことに否定的な回答割合は12.8%となっており、「どちらともいえない」も24.5%にのぼっていること、第3子を希望しても実現が困難とされる現状から、実際の出生率は人口置換水準（2.08）を大きく下回ることが予想されます。

将来子どもを持つことについて



希望の子どもの人数 (n=172)



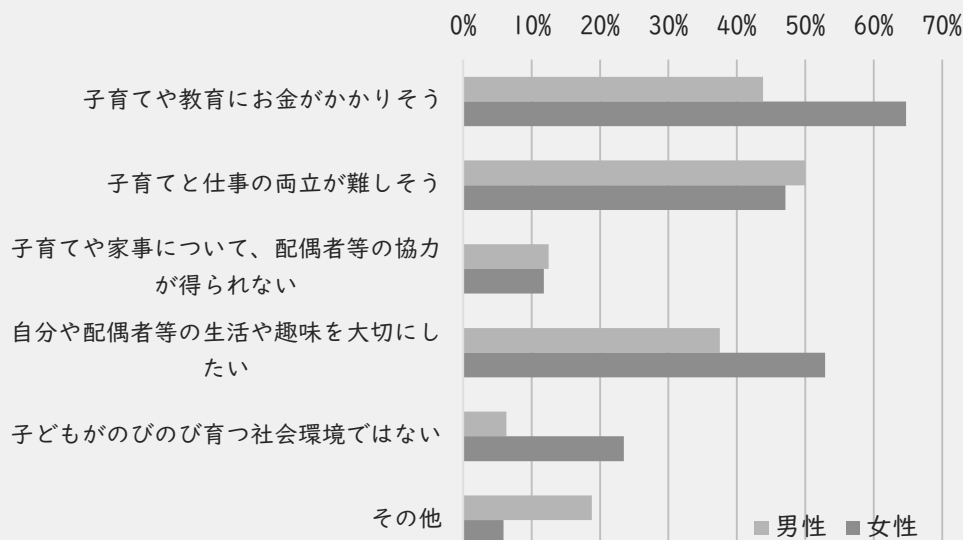
※肯定的な回答...「将来、結婚したい」に「非常に当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合の合計

※全国調査...ソニー生命保険株式会社が2023年6月に実施した「中高生が思い描く将来についての意識調査2023」のうち、高校生の回答を引用した

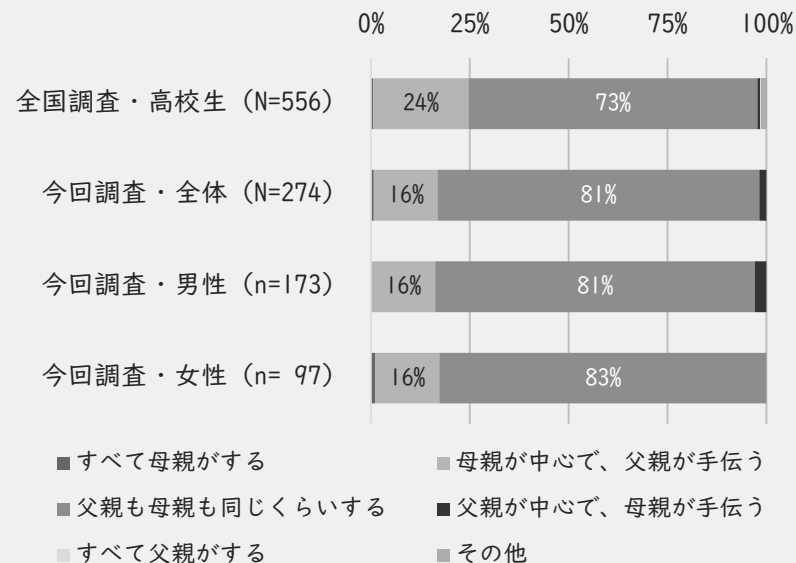
## 8 子ども・子育てに対する考え

- 「子どもを持つこと」に否定的な方に、その理由を聞いたところ、男性では「子育てと仕事の両立困難」が最も高く、次いで「経済的な不安」「ライフスタイル重視」が高くなりました。女性では「経済的不安」「ライフスタイル重視」が男性よりも特に高くなっており、「子育てと仕事の両立困難」は男女とも同程度となりました。「社会への不安」は女性で比較的高くなっています。
- 父親と母親の子育ての分担について聞いたところ、「母親が中心で、父親が手伝う」は男女ともに16%程度で、全国調査※を下回っています。「父親も母親も同じくらいする」は8割以上となっています。

子どもを欲しいと思わない理由 (n=35)



子育ての分担

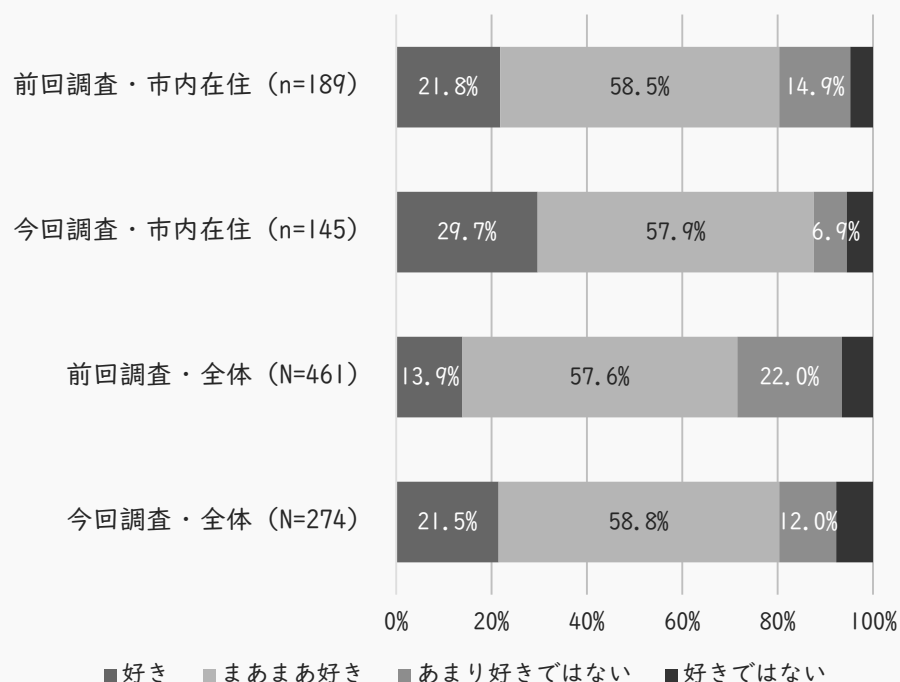


※全国調査について...NHKが2022年7月～8月に実施した「中学生・高校生の生活と意識調査2022」のうち、高校生の回答を引用した

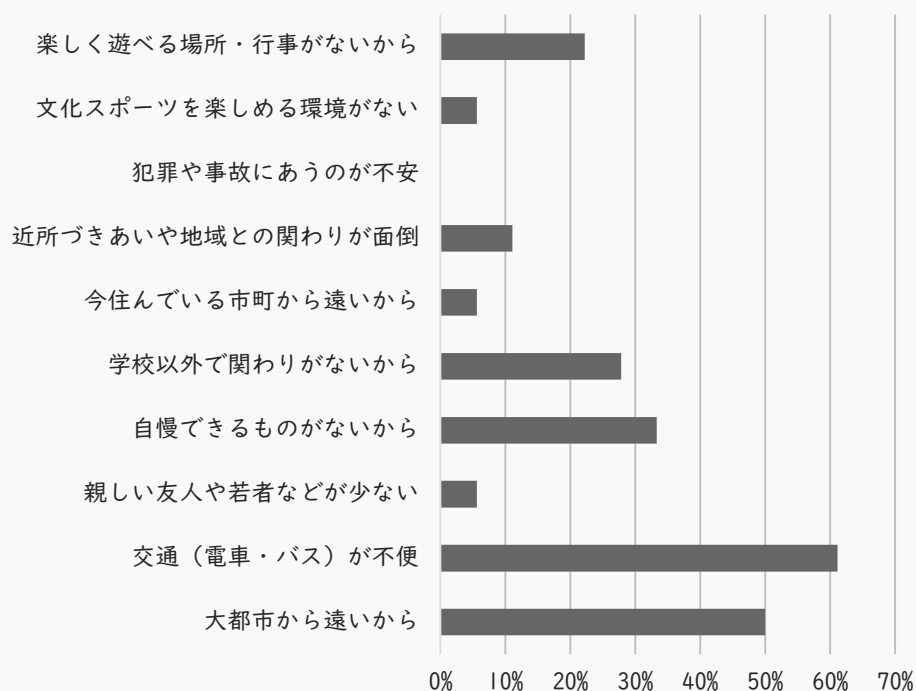
## 9 西脇の印象

- 西脇市が好きか聞いたところ、「好き」の割合は市内在住者で29.7%、全体でも21.5%となり、前回調査※よりも8ポイント程度増加しました。「まあまあ好き」の割合は前回と同程度で、市内在住者の肯定的な回答は87.6%（全体では80.3%）となりました。
- 否定的な回答をした市内在住者に「好きではない理由」を聞いたところ、都市的な機能の不足に加えて、「自慢できるものがない」「学校以外でかわりがない」といった回答が比較的高くなりました。

西脇市が好きですか（全体／市内在住）



好きではない理由（n=18）



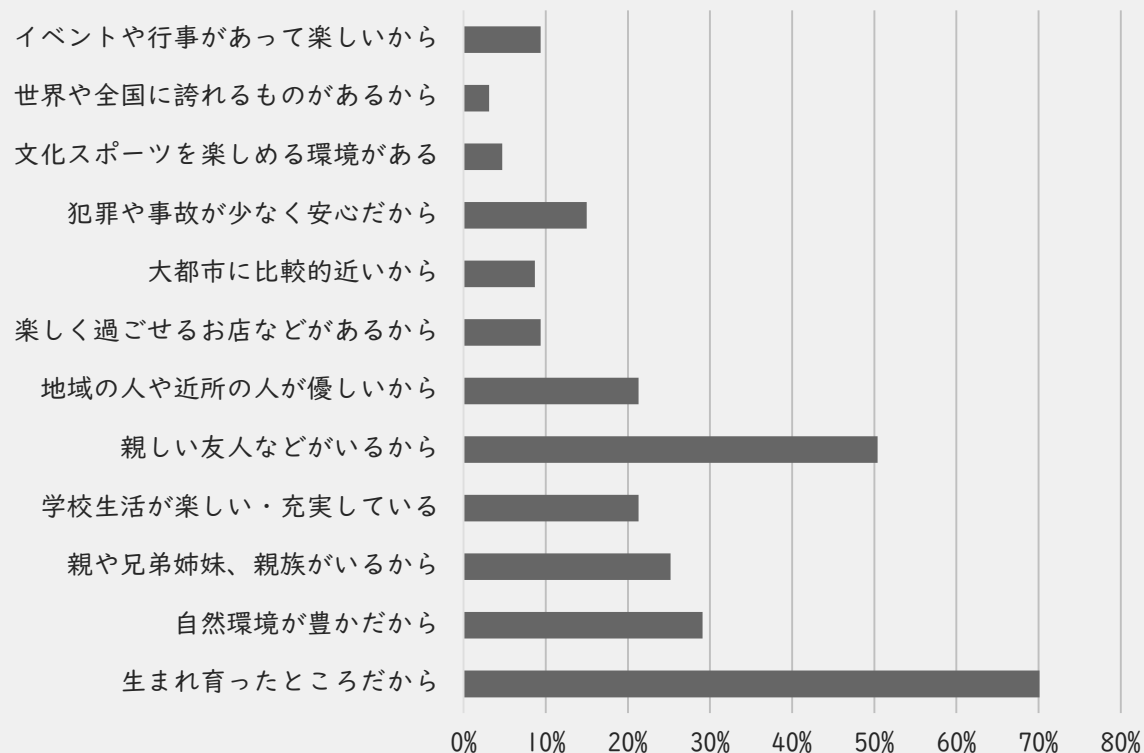
※前回調査...H29.7に実施した高校生アンケート調査。紙面で実施し、各校で配布・回収に協力いただいたため、比較的回答率が高い。  
調査の質問文・選択肢は今回調査と同じ。

## 9 西脇の印象

- 西脇市を好きと肯定的な回答をした市内在住者に「好きな理由」を聞いたところ、「生まれ育ったところだから」（70%）や「親しい友人などがいるから」（50%）が特に高く、次いで「自然環境が豊かだから」（29%）、「親や兄弟姉妹、親戚がいるから」（25%）、学校生活が楽しい・充実している」「地域の人や近所の人優しいから」（21%）となっており、地域コミュニティや豊かな自然環境などを好意的に捉えている様子がうかがえます。
- 「西脇市の自慢できるもの」について自由に記述してもらったところ、「日本のへそ・へそ公園」「商業施設」「人柄」「祭り・イベント」「豊かな自然」などのほか、西脇ならではの地域資源（グルメ・食材・播州織）や公共施設（みらいえ）などが多く挙げられました。

西脇市の自慢できるもの（n=136）

好きな理由（n=127）



日本のへそ・へそ公園	10
店が充実（カフェ・コンビニなど）	9
やさしい人柄・友人	8
祭り・イベント（夏まつり・播博）	8
豊かな自然	6
西脇工業高校・陸上	6
食材（いちご・和牛・ゴマなど）	5
播州ラーメン	5
Miraie（みらいえ）	4
播州織	4
穏やかなまち（静か・安全）	4